

# 都市の雨水管理

## 米国のグリーンインフラに学ぶ

ランドスケープアーキテクト (ASLA) 小出 兼久

第6回

外乱による変化を受けながらも機能やシステムの同一性を本質的に保つことを試みつつ、システムを再構成する能力のことである。

グリーンインフラによる街並み

都市のインフラストラクチャーの中で、スムーズな車両往來を可能にし、歩行者が行きたい場所に行くことができ、求められる輸送量を実現する



道路表面を流れる雨水は縁石カット部分から道路脇に設けられたグリーンインフラストラクチャーへ流入し、処理される (シアトル)

ランドスケープアーキテクト (ASLA) 小出 兼久

テクチャーが自然ととも歩めば、地域社会は、気候災害に遭っても機能やシステムを維持し続けることができる力、あるいは、被害から回復することのできる力を備えることができる。これは、ランドスケープアーキテクトチャーがレジリエンス (回復力) を備えた機能やシステムを設計することができ、その一つがグリーンインフラストラクチャーである。

方法から能力へ

1990年代初頭から、社会ではサステイナビリティ (持続可能性) が認識されてきた。これは、いかにして社会を持続可能なものにするかという命題でもあった。端的に言えば、サステイナビリティとは方法であり、資源の適切な管理によって社会を健全に持続させることであった。これに対してレジリエンスとは力である。それは、

一般的に、コベネフィット (一つの気候対策が生み出すさまざまな利益) を伴う。グリーンインフラのそれは、雨水を敷地の外へ可能な限り出さな

1990年代初頭から、社会ではサステイナビリティ (持続可能性) が認識されてきた。これは、いかにして社会を持続可能なものにするかという命題でもあった。端的に言えば、サステイナビリティとは方法であり、資源の適切な管理によって社会を健全に持続させることであった。これに対してレジリエンスとは力である。それは、

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

は、自然システムの可能性もある。例えば道路とは、配置や規模、特性が都市の形態や開発パターンを決定するだけでなく、場所の感覚を醸成させるのにも役立つものである。場所の感覚や安心感、社会とのつながりなどの感覚は、視覚的に

# レジリエントデザインとグリーンインフラストラクチャー (2)

筆者：小出兼久 (こい で・かねひさ) NPO法人日本ゼリスケープデザイン研究協会 (JXDA) 代表理事  
備考：記事詳細は JXDA (<http://xeriscape.jp.org>) の環境新聞 + コラム資料参照